



奈良県感染症情報

令和7年 第3週(1月13日～1月19日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

インフルエンザ警報発令中!

今週の概要

- ノロウイルスの感染を広げないために
- 病原体(ウイルス)検出情報(令和6年12月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	17.93	(36.33)	↘	↓	↘	↓
2	感染性胃腸炎	5.03	(4.24)	↗	↗	↗	↑
3	新型コロナウイルス感染症	4.55	(6.53)	→	↗	↗	→
4	A群溶連菌咽頭炎	1.00	(0.91)	↗	↗	↗	↓
5	RSウイルス感染症	0.79	(0.65)	↗	↘	↑	↑

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況 ◆

第3週のインフルエンザの定点当たり報告数は17.93で前週より減少しましたが、警報レベル終息基準値の「10」を下回っていないため警報発令中です。再び感染が拡大しないよう、引き続き対策をお願いします。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は5.03と前週の4.24から増加しています。感染性胃腸炎の原因病原体は数多くありますが、冬期はノロウイルスによる報告が増加します。ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染します。ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療は輸液などの対症療法に限られるため、日頃からの対策が重要です。食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。

◆ ノロウイルスの感染を広げないために ◆

ノロウイルスにはアルコール消毒が効かないため、塩素消毒が有効ですが、適切な濃度で消毒しないと効果がありません。また、おう吐物などを処理する手順が不適切だと吸引による感染拡大が起こることがあります。

(参考:感染対策普及リーフレット 第3版(厚生労働省))

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001206496.pdf>

製品の濃度	食器、カーテンなどの消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L

※塩素系漂白剤使用の場合、製品濃度を確認しましょう。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(令和6年12月) ◆

*ウイルス分離同定日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
RS	2	4			RSウイルス感染症(6)
ヒトメタニューモ	10	1			ヒトメタニューモウイルス感染症(10) ヒトメタニューモウイルス感染症/ マイコプラズマ感染症(1)
インフルエンザ AH1pdm	1	3			インフルエンザ(4)
アデノ 41型	1				感染性胃腸炎/アデノウイルス腸炎(1)
ヒトパレコ 1型		1			感染性胃腸炎(1)

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 7 年 第 3 週 1 月 13 日 ~ 1 月 19 日

保健所別報告数	北部		中部		南部	
	奈良県	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野	
インフルエンザ	55 (17.93)	14 (10.57)	14 (14.00)	11 (19.00)	10 (32.60)	6 (17.83)
新型コロナウイルス感染症	250 (4.55)	48 (3.43)	65 (4.64)	46 (4.18)	71 (7.10)	20 (3.33)
小児科定点数	34	9	9	7	6	3
RSウイルス感染症	27 (0.79)	4 (0.44)	2 (0.22)	11 (1.57)	8 (1.33)	2 (0.67)
咽頭結膜熱	4 (0.12)	2 (0.22)				2 (0.67)
A群溶連菌咽頭炎	34 (1.00)	10 (1.11)	1 (0.11)	5 (0.71)	17 (2.83)	1 (0.33)
感染性胃腸炎	171 (5.03)	36 (4.00)	48 (5.33)	34 (4.86)	39 (6.50)	14 (4.67)
水痘	2 (0.06)		1 (0.11)		1 (0.17)	
手足口病	2 (0.06)			2 (0.29)		
伝染性紅斑	12 (0.35)	2 (0.22)	10 (1.11)			
突発性発しん	5 (0.15)	1 (0.11)	4 (0.44)			
ヘルパンギーナ						
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0
急性出血性結膜炎						
流行性角結膜炎	2 (0.20)	1 (0.33)		1 (0.50)		
基幹定点数	6	1	2	1	1	1
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)			
無菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)			
マイコプラズマ肺炎	3 (0.50)		1 (0.50)		2 (2.00)	
クラミジア肺炎						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)						

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症2件(郡山1、中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症4件(郡山1、中和1、吉野2) 梅毒3件(奈良市1、中和2) バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件(郡山1)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	38	新型コロナウイルス感染症	21
---------	----	--------------	----

❖ 第3週のトピックス ❖

IDWR 2024年第52号<注目すべき感染症> インフルエンザ(国立感染症研究所HP)
https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/flu-idwrc/13096-idwrc-2452.html

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段:報告数
(下段):定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	3	7	18	13	17	27	33	23	22	17	24	72	24	25	28	38	36	25	15	16	483	1756
	女	2	4	11	16	20	21	20	27	21	21	25	62	37	26	42	49	30	33	19	17	503	1724
新型コロナウイルス感染症	男	1	2	1	7	7	5	7	2	3	1	4	11	5	13	5	12	8	7	8	8	117	329
	女	3	1	6	5	5	2	3	3	2	5	3	7	8	5	11	15	15	14	16	7	133	356
RSウイルス感染症	男	2	1	8		3																14	25
	女	1	1	4	3	3					1											13	27
咽頭結膜熱	男		1	1																		2	6
	女		1												1							2	6
A群溶連菌咽頭炎	男			1			4	2	5	4		1	3	1								21	35
	女					1	3	1	2	1	1		3		1							13	32
感染性胃腸炎	男		2	16	12	9	9	3	4	7	3	1	12	14	8							100	195
	女		3	12	7	8	3	3	8	2	1	3	5	3	13							71	129
水痘	男						1															1	5
	女												1									1	1
手足口病	男			1																		1	3
	女					1																1	4
伝染性紅斑	男			1	1	1		1			1											5	8
	女					1			3		2		1									7	11
突発性発しん	男			1																		1	5
	女		1	2	1																	4	8
ヘルパンギーナ	男																						1
	女																						
流行性耳下腺炎	男								1													1	1
	女																						1
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						
	女															1						2	6
細菌性髄膜炎	男																					1	2
	女																					1	1
無菌性髄膜炎	男									1												1	1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男		1																			1	7
	女			1		1																2	7
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						
	女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R7 ▲ R6 □ R5 〰 過去10年平均

